2015年11月20日

南アフリカの利上げについて

ポイント① 市場予想に反して利上げを決定

11月19日、南アフリカ準備銀行（中央銀行）は金融政策決定会合において、政策金利であるレポレートを0.25%引き上げ、6.25%とすることを決定しました。

利上げは、7月以来で、今年2度目となります。市場では、一部に利上げの予想はあったものの、過半が据え置きを予想していました。

ポイント② 通貨安やインフレ圧力への対応が目的

同中銀は利上げの理由として、通貨安、干ばつによる食料品価格の上昇、電力料金の引き上げなどがインフレ圧力になる可能性を指摘しています。

一方で、足元の景気の弱さにも触れ、2015年と2016年の経済成長率見通しを、それぞれ1.4%（従来は1.5%）、1.5%（同1.6%）に下方修正しました。修正幅は小幅であるものの、ダウンサイドリスクが増したと評価しています。

成長見通しが悪化している中、同中銀は、利上げの見送りは将来の大幅な政策調整につながり、短期的な成長をより下押しする可能性があるため、今回会合での利上げを決定したと説明しています。

ポイント③ ボラティリティの上昇には警戒が必要

今回の決定を受けて、11月19日のニューヨーク外国為替市場では、対米ドルで前日比1.0%程度、対円で同0.4%程度の南アフリカランド高となりました。

今後は、12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）を控えて、金融市場のボラティリティが高まる展開が想定されます。こうした環境の中で、今回予防的な利上げを行なったことは、南アフリカランドの一定の下支え要因となると考えられます。

重要イベント		
	11月24日	GDP（7-9月期）
	12月7日	経常収支（7-9月期）
	12月16日	米金融政策発表

図1：政策金利の推移

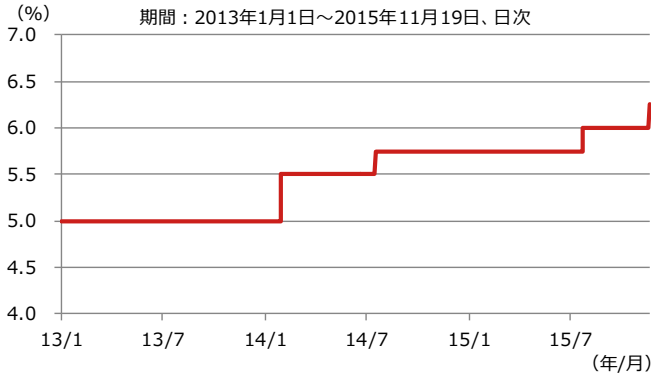


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

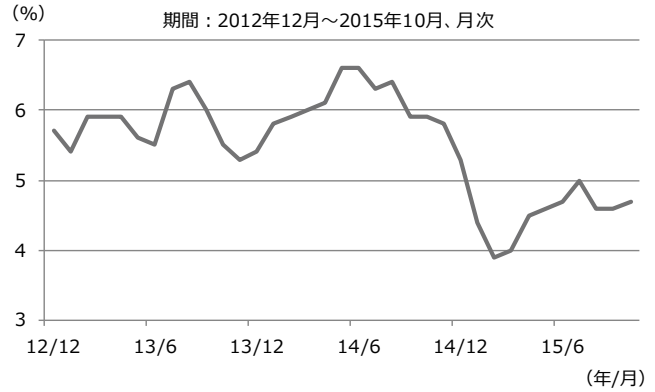
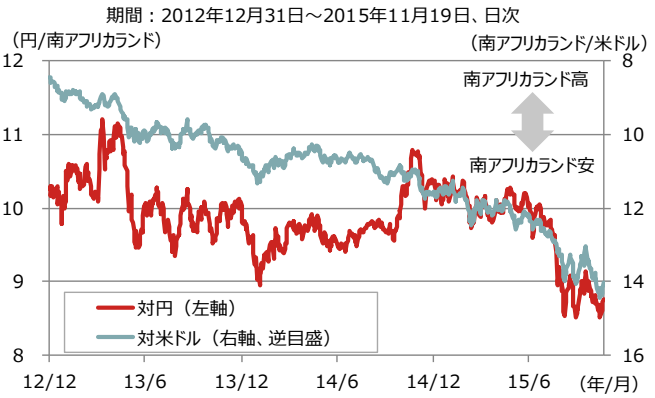


図3：為替レートの推移



（出所）ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

NOMURA 野村アセットマネジメント

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。